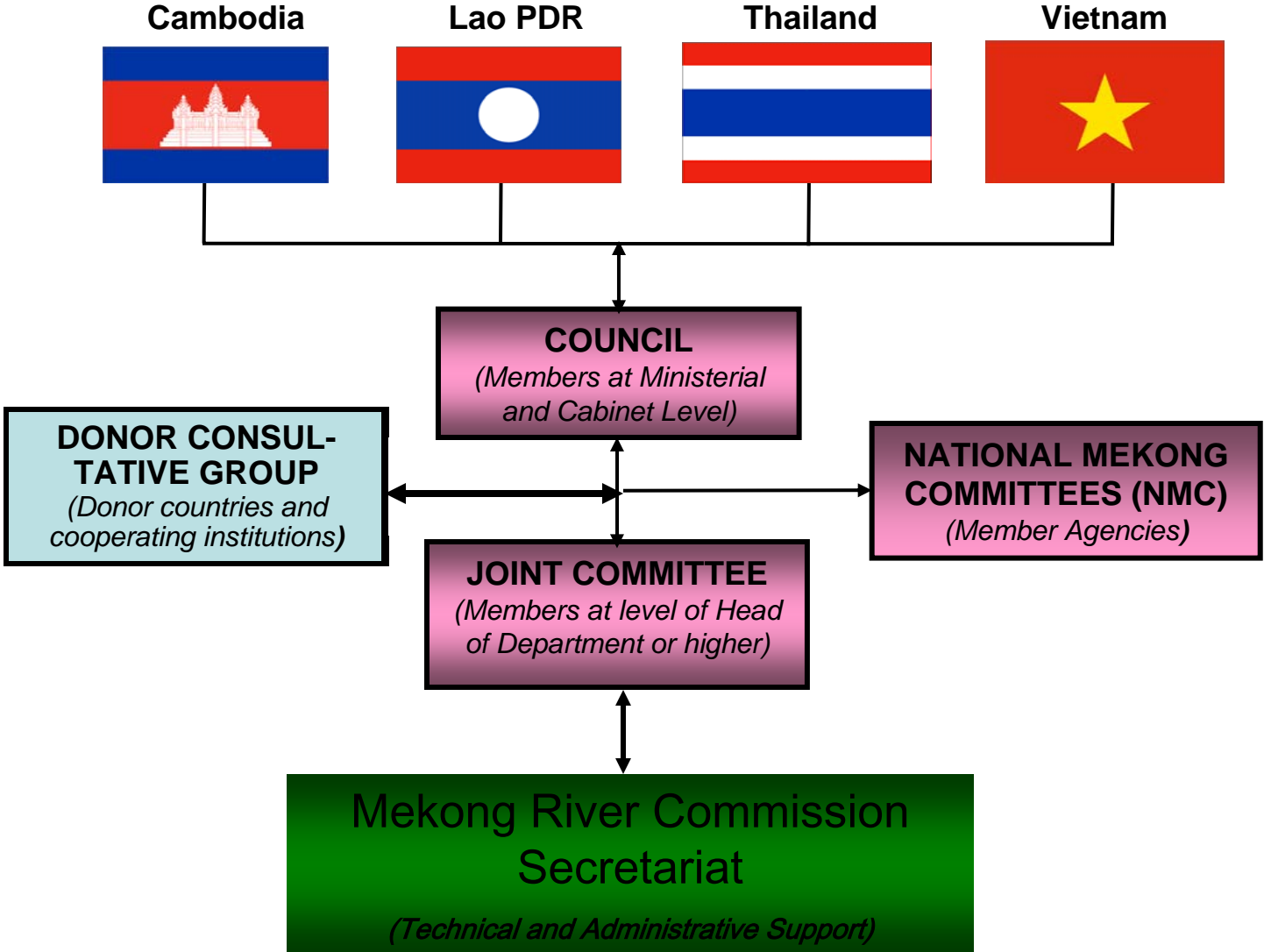


第三部

- メコン河委員会の挑戦 -

MRC Organisational Structure



メコン河委員会の概要

1995年メコン河協定(抜粋)

第1条： 協力の範囲

すべての河岸国の多国間利用および相互利益を最適化し、自然や人間の行為から生ずる損害を最小限にする手法で、灌漑、水力発電、航行、洪水管理、漁業、木材搬出、観光分野を含み、かつ右に限定することなく、メコン河流域の水および関連資源の持続的発展、利用、管理および保護のためのあらゆる分野の協力を行う。

第2条： プロジェクト、プログラムおよび計画

流域レベルで援助を要請し、実施するための事業やプログラムを発掘・分類し優先順位を付すために使用される「流域開発計画」(Basin Development Plan、以下「BDP」)の作成を通じて、全ての河岸国への持続可能な利益の最大の可能性の開発及びメコン河流域の水の浪費の防止に関する促進・支援・協力・調整を、合同または流域全体の開発事業 / 流域プログラムを強調・優先しつつ、実施する。

1995年メコン河協定(抜粋)

第3条： 環境及び生態系バランスの保護

流域における開発計画、水及び関連する資源の利用から生じる公害や損害からメコン河の環境、天然資源、水生生物及び条件、生態系のバランスを保護する。

第4条： 主権平等及び領土保全

メコン河流域の水資源の利用及び保護においては、主権平等及び領土保全の原則に立って協力する。

1995年メコン河協定(抜粋)

第5条： 合理的、公平な利用

加盟国は、合理的かつ公平な方法でメコン水系の水を利用することに合意する。

- A. トンレサップ湖を含むメコン河の支流については、流域内の利用及び流域変更は、合同委員会への通報が必要である。
- B. **メコン本流**については、次の通り。
- 1) **雨期**
 - a) 流域内利用は、合同委員会への通報が必要である。
 - b) 流域変更は、合同委員会による合意形成を目的とした事前協議が必要である。
 - 2) **乾期**
 - a) 流域内利用は、合同委員会による合意形成を目的とした事前協議が必要である。
 - b) あらゆる流域変更事業は、個別に合同委員会の合意がなされるべき。ただし、使用予定量を超える余剰水量があり、合同委員会によりそれが証明され全会一致で確認されるのであれば、事前協議によるものとする。

1995年メコン河協定(抜粋)

第6条： 本流における水量の維持

厳しい渇水・洪水を除き、本流の水量を維持するために協力する。

- A. 乾期における**毎月の受諾可能な最低水量**より少なくなならないこと
- B. 雨期における**トンレサップ湖の受諾可能な自然逆流**を可能にすること
- C. 洪水期に平均的に発生するよりも多量な**日平均最大流量**を防止すること。

第7条： 悪影響の防止及び中止

環境、特に河川水系の水量、水質、水生条件、生態系バランスに及ぼすメコン河水系の水資源の開発と利用から生じうる悪影響を回避、最小化、減少させるためのあらゆる努力をする。

一国又は複数国がメコン河の水の利用及び又は放流により、他の一カ国又は複数国に大きな損害を与えているとの適切かつ有効な証拠を通告された場合は、その国は損害の原因が明らかになるまで損害の原因として主張されている行為を直ちに中止しなければならない。

Vision for the Mekong River Basin

**An economically prosperous,
socially just and
environmentally sound Mekong River Basin**

Vision for the MRC

**A world class, financially secure, international river basin organization
serving the Mekong countries to achieve the basin vision**

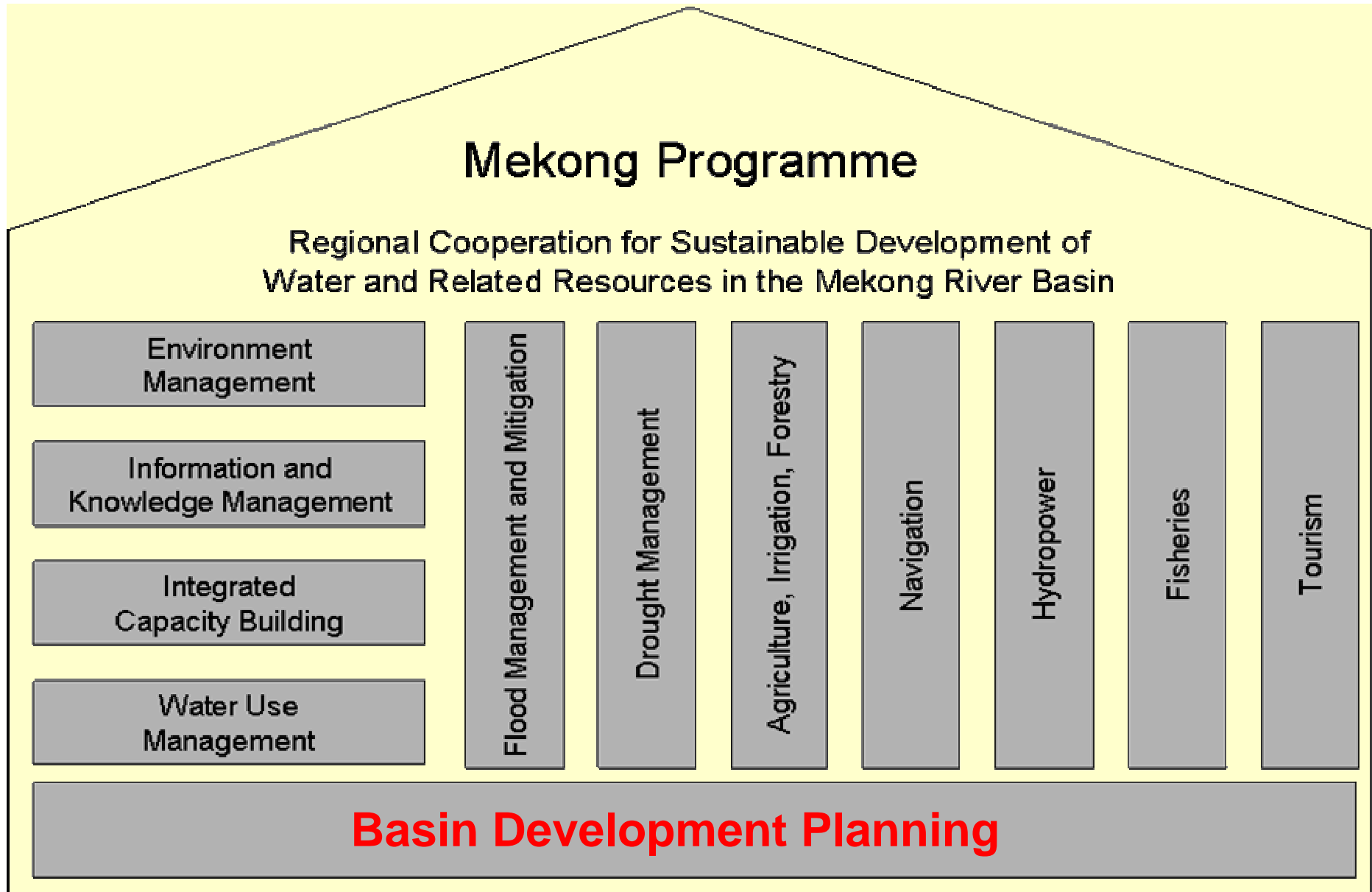
Mission of the MRC

**To promote and coordinate sustainable management and development
of water and related resources
for the countries' mutual benefit and the people's well being
by implementing strategic programmes and activities and
providing scientific information and policy advice**

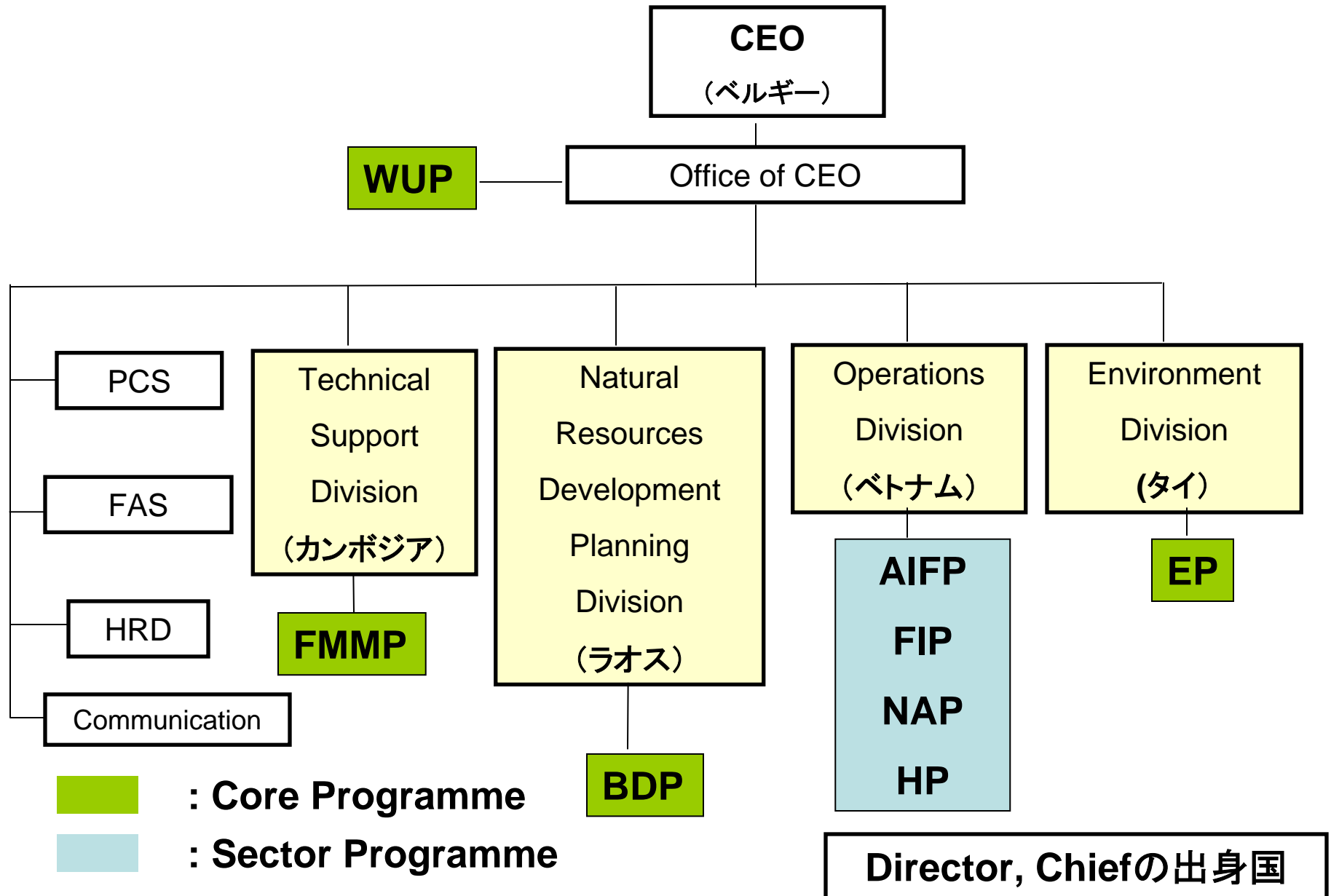
MRCのプログラム

- **流域開発計画 (Basin Development Planning: BDP)**
- **環境管理 (Environment Management: EP)**
- **水利用管理 (Water Use Management: WUP)**
- **洪水管理緩和 (Flood Management and Mitigation: FMMP)**
- **渇水管理 (Drought Management: DMP)**
- **水産 (Fisheries Programme: FIP)**
- **農業・灌漑・森林 (Agriculture, Irrigation and Forestry Programme: AIFP)**
- **舟運 (Navigation Programme: NAP)**
- **水力発電 (Hydropower Programme: HP)**
- **観光 (Tourism Programme)**
- **統合人材開発 (Integrated Capacity Building: ICBP)**
- **情報知識管理 (Information and Knowledge Management: IKMP)**

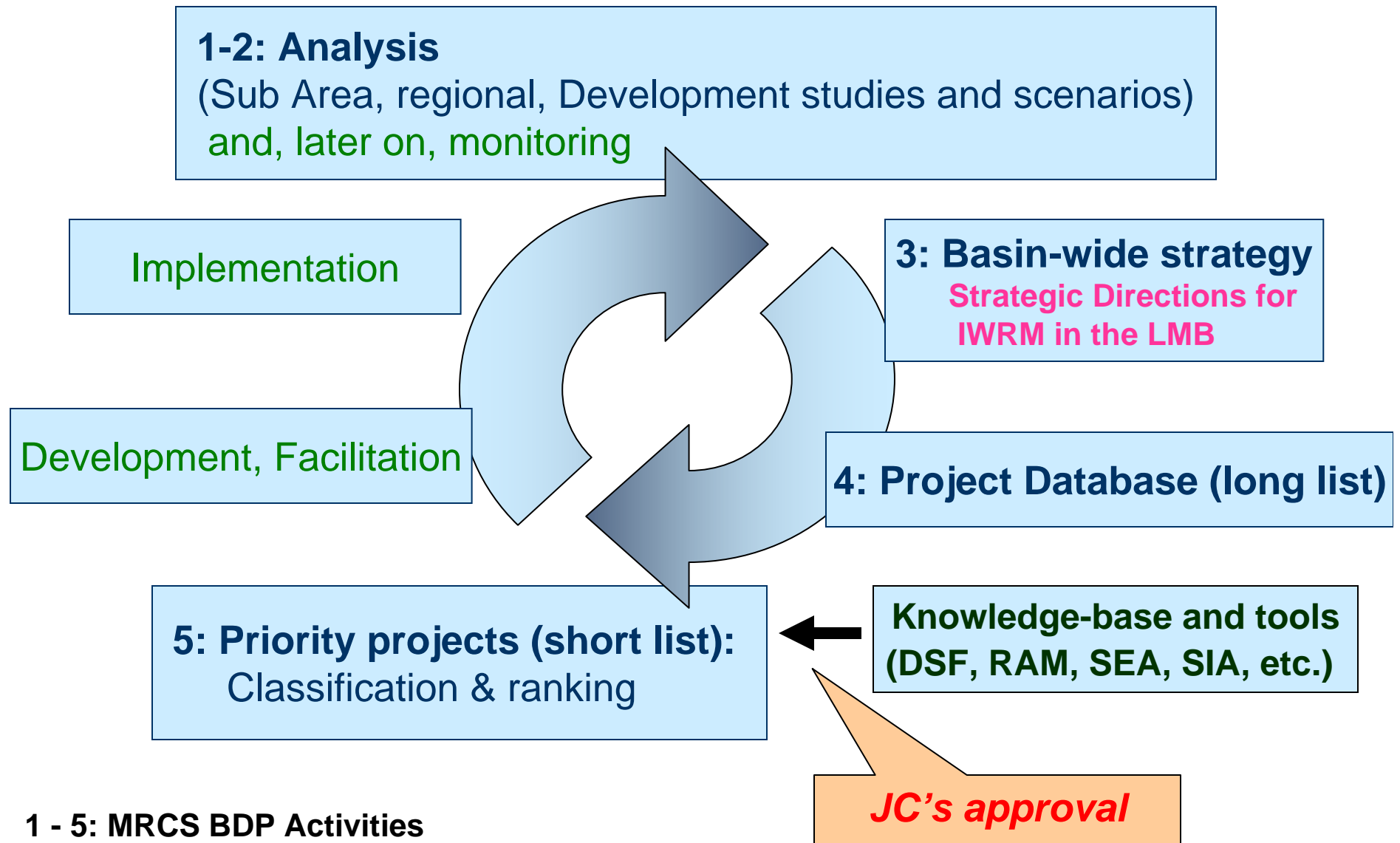
MRC Programme Structure (Strategic Plan 2006-2010)



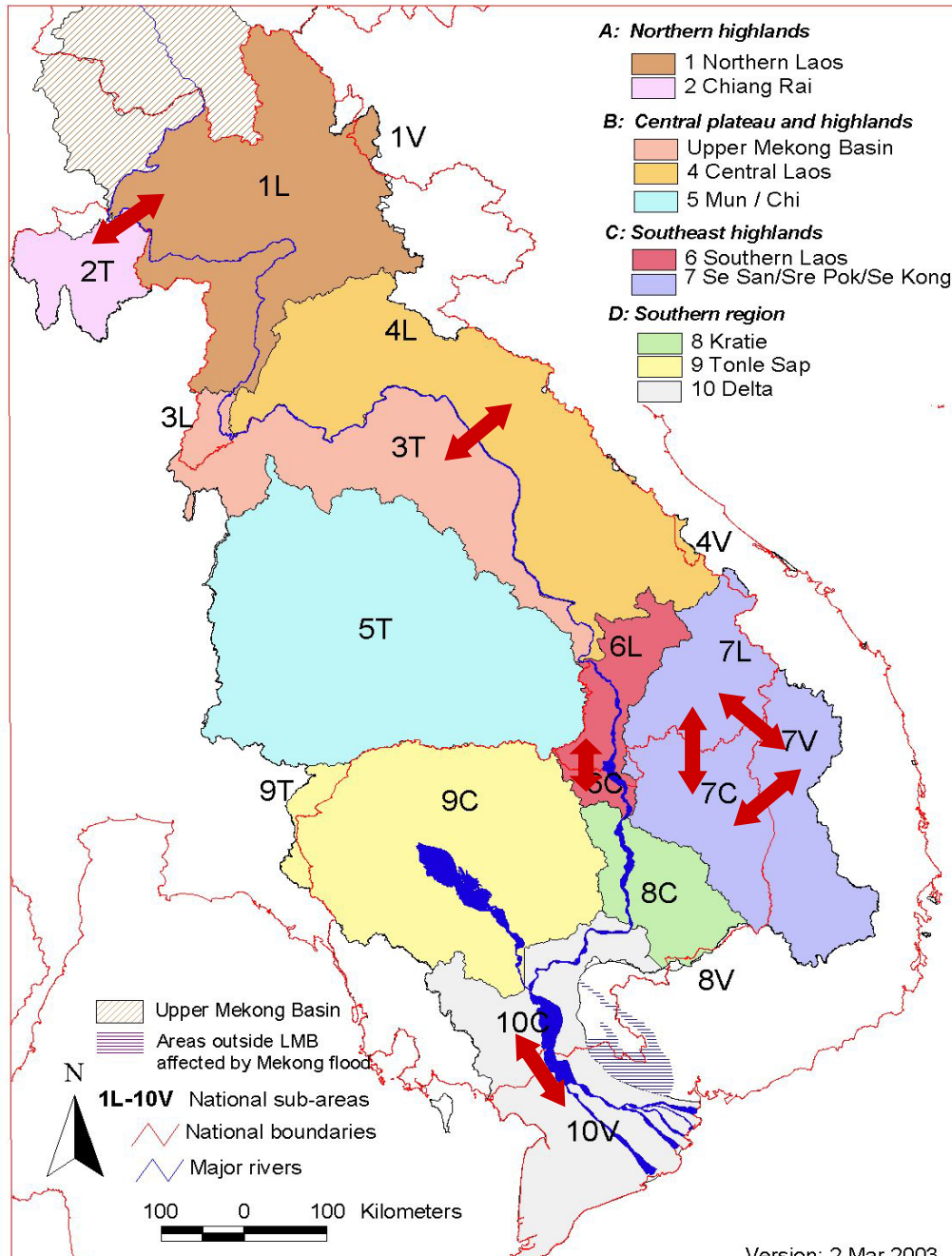
メコン河委員会事務局の組織(120名)



BDP Planning Cycle with stakeholders participation



BDP subareas



Sub Area Forum

247 national projects from the member countries have been identified

Trans-boundary meetings

69 joint projects among the member countries have been identified

→ BDP Projects Database

“Strategic Directions for IWRM in the LMB”

Eight key areas for action

- Economic development and poverty alleviation
- Environment protection
- Social development and equity
- Dealing with climate variability
- Integration through basin planning
- Information-based planning
- Regional cooperation
- Governance

メコン河委員会の課題

1. 途上国で構成、加盟国のガバナンスを高める必要

- 人材開発、流域レベルでの協力体制の強化、科学的・建設的な交渉・議論能力

2. ドナー依存


- 不安定な運営経費

3. 事務局の権限の弱さ

- 事務局は合同委員会の監督下にあり、独立した調整機関でない。

4. 我が国の援助戦略の明確化

- バイとマルチの機能
- 事業の上流支援(意思決定に必要なソフト協力)と事業の下流支援(インフラ整備への援助、GMS等)との連携戦略

A photograph of a sunset over a body of water. The sun is a bright orange orb in the center, with its reflection shimmering on the water's surface. Several palm trees are silhouetted against the sky, their fronds dark against the lighter background. The sky transitions from a deep orange near the horizon to a darker purple at the top. The overall mood is peaceful and serene.

Thank you for your attention